

心理療法の会（令和5年度）実績

回数	日付	テーマ	講師	内 容
1	4/22	SST の実践	奥田悦子 臨床心理士 (21221)	Social Skills Training（ソーシャルスキルトレーニング）のさまざまなプログラムを通して対人関係など社会生活に必要なスキルを学んでいく技法の基礎と実践を学びました。臨床現場でファシリテーターとして SST をどう活用していくかということを経験し、当事者役、参加者役などを交代しながら SST を体験していただきました。
2	5/27	事例検討	下川路友美 臨床心理士 (40494)	自分のことを自覚出来ない 20 歳の女性についての事例検討会。 母親との関係の中で、関係性をみつめようとしないう女性。いつも自己犠牲的な言動の背後ににある 2 者関係が見えてきました。今、母や親族に振り回され自分らしく生きれない CL の苦しみを参加者で共有できました。CL と TH の間に起る間主観性も共に体験できた会となりました。
3	7/1	愛着形成	大田裕子 臨床心理士 (23095)	「愛着」は親子関係で重要な視点となります。特定のだれかと愛着を結べたのかどうかその子の人生を大きく左右することになります。 子育ての中で普通に結べたはずの「愛着形成」が現代の子育てで変化が起きています。「子どもへのかかわり方が分からない」「あやし方がわからない」「子どもの目を見て話すことができない」などなど。愛着障害の症状とは、愛着形成の重要性を学びました。
4	9/30	プチ虐待	佐伯敦子 臨床心理士 (23078)	日常の子育てにおいて親の思いとは逆に知らず知らずに子どものことを傷つけてしまっていることがあります。基本的な虐待の種類と親の特徴をまず復習したあと、「プチ虐待」とはどういう状態なのかを学びました。これが続けば子どもの心に傷を残すことになり子どもの自主性や自尊感情に影響を与えてしまいます。親は殆どの場合しつけと思っています。しかし、繰り返すことで発達性トラウマ障害という子どもの脳にじわじわとダメージを与えることの恐ろしさの深刻さを学び増した。臨床家が「虐待」の知識をベースに「プチ虐待」という視点に目を向けることで、クライアントさんの子育てあるあるを共有することができ、その結果、子どものことを守る子育てを提言できることが学べました。
5	10/28	ポリヴェーガル理論 II	田代佳織 臨床心理士 (36125)	ストレス改善&トラウマケアの最新理論である「ポリヴェーガル理論」から、3つの自律神経を3色のイラスト（赤・緑・青）と共に、4つの神経モードをわかりやすく解説します。神経のメカニズムを理解することで、心身の反応がカラダ（神経）の状態であることがわかります。神経の観点から観察し解釈することで、普段の臨床での様々な訴えが理解できることを学びました。特に学校現場で固まる児童たちのこの状態がとてよく理解できます。その結果、今何が起っているのかを教師にコンサルすることで児童理解を深めることができることを学びました。 後半はみんなでリラクゼーションを体験することができました。

6	11/25	「タッチ」と「香り」	澤井世津子 臨床心理士 (2000759)	記憶と深く関わる「香り」と「タッチ」が心身に与える影響や効果、愛着形成などについて基本的なことを講義してもらいます。医療の場面特に産婦人科やターミナル医療においてその地位は確立されています。臨床現場でアロマを用いる臨床アロマセラピーの事例も交えながらご紹介してもらいました。また、ワークショップでは実演しながらお互いに「触れ方」のコツを学びました。登校しぶりや適応障害などを抱えるクライアントさんとカウンセリングするときなかなか進まないと感じる場面が多いことをシェアリングした後、様々なアイデアや動作法、催眠療法、イメージ療法など他のツールの知見が飛び出しました。
7	1/27	DVについて考える	奥田悦子 臨床心理士 (21221)	講師より信田さよ子先生の生い立ちや経歴の紹介がありました。また、いくつかの著書の紹介と内容をかいつまんで説明を聞きました。「DV」「マイノリティ・マジョリティ」「当事者・支援者の関係」「ピアサポート」などたくさんの考えさせられるテーマばかりでした。それぞれに支援者のあり方を再構築できた会となりました。
8	2/24	アダルトチルドレン	西村奈都子 公認心理師 (第 58699 号)	前回の「DVについて考える」の続きで「アダルトチルドレン」をテーマとしました。経済的にも、家族構造的にも愛情も注がれて育ってきたはずなのに、大人になっても内面的に生きづらさを抱えている人は多いと思われます。その成長過程で何が起っていたのかを信田さよ子先生の著書から講師がまとめてくれました。後半はそれをもとに自身の臨床経験で出会ったクライアントさん達を思い浮かべながらその理解を支援の仕方を出し合いました。とても有意義な視点を改めて勉強することが出来た会となりました。